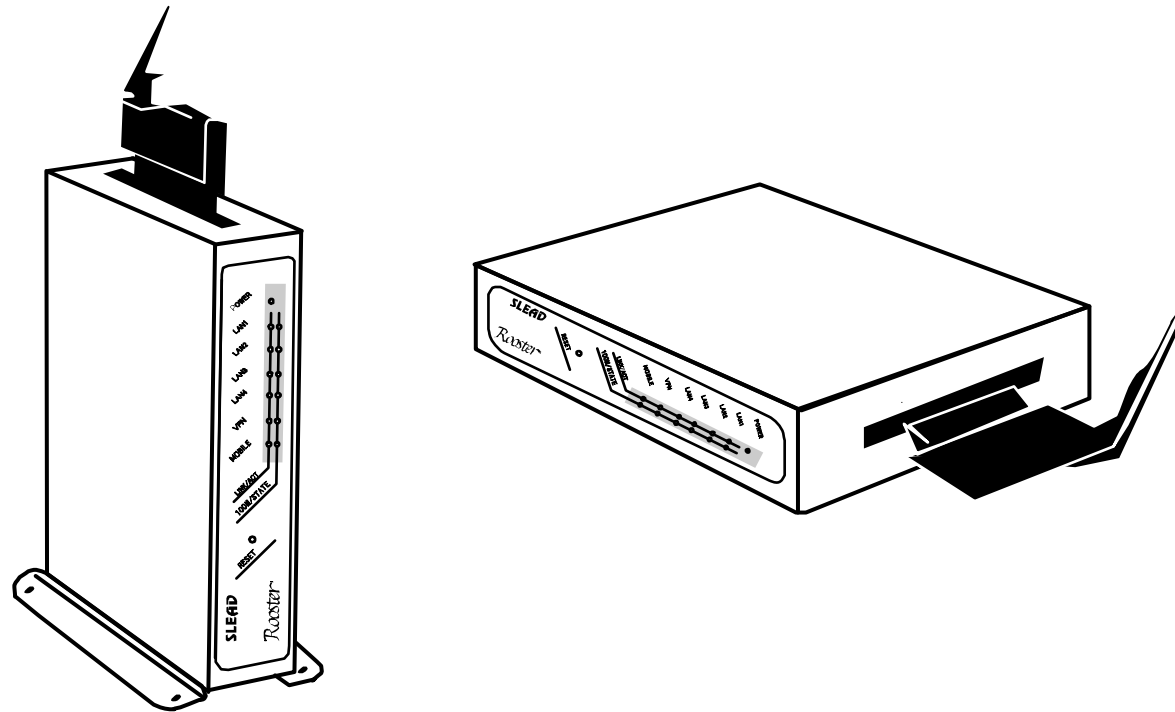


モバイルデータ通信カード対応 高信頼性 VPN モバイルルータ

Rooster-VMII

SC-RS920VM2

TELNET 設定機能説明書



<http://www.sun-denshi.co.jp/sc/>

Rooster-VMII

TELNET 設定機能説明書 目次

1. 概要	1	6.4.24	ダイヤルアップ自動接続設定	11
2. 実装コマンド	1	6.4.25	ダイヤルアップセッションキープ	11
3. 通信概略	1	6.4.26	ダイヤルアップ無通信監視	12
4. 通信手順	1	6.4.27	ダイヤルアップ無通信監視時間	12
5. 通信フォーマット	1	6.4.28	ダイヤルアップ NAT設定	12
6. コマンド詳細	2	6.4.29	ダイヤルアップ接続先	12
6-1 ユーザ補助コマンド	2	6.4.30	RAS着信使用設定	13
6.1.1 コマンド一覧表示	2	6.4.31	RAS着番認証使用設定	13
6.1.2 コマンド補完処理	2	6.4.32	RAS着信モード設定	14
6-2 システム情報表示	2	6.4.33	RAS着信認証プロトコル設定	14
6.2.1 MACアドレス表示	2	6.4.34	RAS着信暗号化方式設定	14
6.2.2 全設定内容表示	3	6.4.35	RASクライアントIPアドレス設定	14
6.2.3 ARP表示	3	6.4.36	RAS着信本体側IPアドレスモード設定	15
6.2.4 即時反映フラグの設定	3	6.4.37	RAS着信本体側IPアドレス設定	15
6-3 モバイルカード情報表示	3	6.4.38	RAS着信ID設定	15
6.3.1 モバイルカードの電話番号	3	6.4.39	RAS着信パスワード設定	15
6.3.2 モバイルカードのアンテナレベル表示	4	6.4.40	RAS着信NAT設定	16
6.3.3 モバイルカードの現在位置表示	4	6.4.41	RAS着番リスト	16
6.3.4 モバイルカードの電源の入れ直し	4	6.4.42	WakeOn着信使用設定	17
6-4 機器の設定・情報取得	5	6.4.43	WakeOnメッセージ種別	17
6.4.1 パスワード	5	6.4.44	WakeOn認証キー	17
6.4.2 NTP使用状態	5	6.4.45	WakeOn着番認証使用設定	17
6.4.3 NTPサーバ1	5	6.4.46	WakeOn着番リスト	18
6.4.4 NTPサーバ2	5	6.4.47	アドレス解決使用設定	18
6.4.5 NTP問合せ間隔	6	6.4.48	アドレス解決更新時間	18
6.4.6 メールアカウント種別	6	6.4.49	アドレス解決種別	19
6.4.7 SMTPサーバ	6	6.4.50	アドレス解決送信先メールアドレス	19
6.4.8 POP3サーバ	6	6.4.51	アドレス解決送信元メールアドレス	19
6.4.9 メールアカウント名	7	6.4.52	アドレス解決メール送信種別	19
6.4.10 メールパスワード	7	6.4.53	アドレス解決指定メッセージ	20
6.4.11 自動電源ON/OFF機能の使用の有無	7	6.4.54	アドレス解決ダイナミックDNS種類	20
6.4.12 自動電源ON/OFF機能の時間間隔設定	8	6.4.55	アドレス解決ダイナミックDNSサーバ名	20
6.4.13 LAN IPアドレス	8	6.4.56	アドレス解決ダイナミックDNSホスト名	20
6.4.14 LANサブネットマスク	8	6.4.57	アドレス解決ダイナミックDNSアカウント	21
6.4.15 LAN RIP設定	9	6.4.58	アドレス解決ダイナミックDNSパスワード	21
6.4.16 モバイルカード初期化ATコマンド	9	6.4.59	DNSサービス使用設定	21
6.4.17 モバイルカード無効設定	9	6.4.60	DHCP機能使用設定	21
6.4.18 ダイヤルアップ使用設定	9	6.4.61	DHCP方式	22
6.4.19 ダイヤルアップモード設定	10	6.4.62	上位DHCPサーバIPアドレス	22
6.4.20 ダイヤルアップ認証プロトコル設定	10	6.4.63	DHCPリース開始IPアドレス	22
6.4.21 ダイヤルアップ暗号化設定	10	6.4.64	DHCPリースアドレス個数	22
6.4.22 ダイヤルアップ本体側IPアドレスモード設定	10	6.4.65	TELNETサービス使用設定	23
6.4.23 ダイヤルアップ本体側IPアドレス設定	11	6.4.66	TELNET LANポートアクセス許可設定	23
		6.4.67	TELNET外部アクセス許可設定	23
		6.4.68	TELNETポート	23
		6.4.69	WEBサービス使用設定	24
		6.4.70	WEB LANポートアクセス許可設定	24
		6.4.71	WEB外部アクセス許可設定	24
		6.4.72	WEBサービスポート	24
		6.4.73	QoS機能使用設定	25
		6.4.74	QoS帯域幅設定	25

6.4.75	QoS設定リスト	25
6.4.76	SNMP機能使用設定	26
6.4.77	SNMPマネージャIPアドレス	26
6.4.78	SNMPコミュニティ名	26
6.4.79	SNMP SYS location名	26
6.4.80	SNMP TRAP使用設定	27
6.4.81	SNMP LANポートアクセス許可設定	27
6.4.82	SNMP外部アクセス許可設定	27
6.4.83	WANハートビート使用設定	27
6.4.84	WANハートビート監視時間	28
6.4.85	WANハートビート無応答時動作	28
6.4.86	WANハートビート監視先	28
6.4.87	WANハートビート監視先IPアドレス	28
6.4.88	パケット通信ログ使用設定	29
6.4.89	Syslogサーバ	29
6.4.90	SyslogサーバIPアドレス	29
6.4.91	PPPログ使用設定	29
6.4.92	IPSecパススルー	30
6.4.93	PPTPパススルー	30
6.4.94	スタティックルーティング	30
6.4.95	フィルタリングポリシー	31
6.4.96	フィルタリングリスト	31
6.4.97	バーチャルサーバ	32
6.4.98	DMZ使用設定	32
6.4.99	DMZプライベートIPアドレス	32
6.4.100	VPN	33
6.4.101	VPNバックアップ	34
6.4.102	VPNキープアライブ時間	34
6.4.103	VPNキープアライブ回数	35
6.4.104	日時設定	35
6-5	ログ情報表示	35
6.5.1	ログ表示	35
6.5.2	ログクリア	35
6-6	ステータス情報表示	36
6.6.1	ステータス表示	36
6-7	接続・切断機能	36
6.7.1	回線の接続	36
6.7.2	回線の切断	36
6-8	その他機能	37
6.8.1	本機のリセット	37
6.8.2	設定全消去	37
6.8.3	設定保存	37
6.8.4	ping	37
6.8.5	コンソールの終了	37
●	サポートのご案内	38

1. 概要

Rooster-VM II の TELNET コンソール機能について記載します。

2. 実装コマンド

本機能にて実装するコマンドは、以下のとおりです。

1. 各種設定機能
2. 各種設定内容の表示機能
3. 設定内容保存機能
4. ログ出力機能
5. システム情報出力機能
6. ステータス情報出力機能
7. ping 機能
8. 本機のリセット
9. 設定全消去（工場出荷設定に戻す）
10. 接続
11. 切断

3. 通信概略

監視用のマシンから、Rooster-VM II の TELNET ポート（ポート番号：23）に接続し、Rooster-VM II の制御を行います。（ポート番号は設定により変更出来ます。）

Rooster-VM II はコマンドを受信し処理を行います。また、コマンドに対しリザルトがある場合、これを監視用マシンに送ります。



4. 通信手順

本機能を使用する手順について以下のように行います。

1. 監視用マシンより、Rooster-VM II の TELNET ポート（工場出荷時 23）に接続します。
2. ログイン名、パスワードを入力して、Rooster-VM II にログインします。
工場出荷時の状態ではログイン名・パスワードはそれぞれ、admin、1234 となります。
なお、パスワードはパスワード設定（set password）により変更できます。

〈接続例〉

```
>telnet 192.168.62.1 23[CR] ←TELNET 接続
~~~~~
login : admin[CR] ←ログイン名を入力
password : 1234[CR]←パスワードを入力（非表示）
Welcome Rooster maintenance console.
system version : R
```

3. Rooster-VM II から、プロンプトが送信されます。
4. 監視マシンは、（プロンプト待ちをした後）コマンドを送信します。
5. Rooster-VM II は、リザルトを出力します。→ 3 へ。
通信を終了するにはコンソールの終了コマンド（exit）を使用してください。

5. 通信フォーマット

通信フォーマットについて記述します。

- コマンド（監視マシン→Rooster-VM II）

（コマンド） （詳細はコマンド詳細にて）	CR
-------------------------	----

- プロンプト（Rooster-VM II →監視マシン）

CR	LF	-
----	----	---

- リザルト（Rooster-VM II →監視マシン）

（リザルト） （詳細はコマンド詳細にて）	CR	LF
-------------------------	----	----

6. コマンド詳細

各コマンドについて詳細は以下のとおりです。

6-1 ユーザ補助コマンド

6.1.1 コマンド一覧表示

機能	コマンド一覧を表示します。
コマンド	?
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-? ←?を入力。</p> <p>[system - システムの表示/設定 ←コマンド一覧を表示。 set - 設定を登録 get - 設定の表示 log - ログの表示 status - ステータスの表示 connect - 接続 discon - 切断 reset - システムの再起動 allclear - 設定を工場出荷時に戻す save - 設定を不揮発メモリに保存 ping - ping を実行 exit - telnet 終了]</p> <p>-</p> <p>-system ? ←?を入力。</p> <p>[mac - MAC アドレスの表示 ←コマンド一覧を表示。 config - 現在の設定一覧を表示 dynupdate - 即時反映フラグの設定 arp - ARP キャッシュの表示 mobilecard - モバイルカードの状態表示・操作]</p> <p>-system</p>
備考	このコマンドは?を入力した時点で動作します。

6.1.2 コマンド補完処理

機能	入力途中のコマンドを補完します。
コマンド	TAB キー 及び ?
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-sy[TAB] ←TAB を入力した時点で補完される。 ↓ -system ←補完結果</p> <p>-sy? ←?でも同様。?を入力した時点で補完される。 ↓ -system ←補完結果</p>
備考	このコマンドは[TAB]や?を入力した時点で動作します。

6-2 システム情報表示

6.2.1 MACアドレス表示

機能	本機の MAC アドレスを表示します。
コマンド	system mac
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <p>-system mac[CR] ←コマンドを入力。 eth0=00:05:7D:0A:00:04 ←LAN 側 MAC eth1=00:05:7D:0A:00:05 ←メンテナンスポート側 MAC -</p>

6.2.2 全設定内容表示

機能	設定内容の一覧を表示します。
コマンド	system config
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system config [CR] ←コマンドを入力。 メモ：同じ設定にする場合、以下の内容をコピーペーストすることで設定できます。 その際、'#'のコメントマークを削除してください。 #system dynupdate 0 set password 1234 ←設定内容一覧が出力される。 set ntp use 1 set ntp server1 ntp.jst.mfeed.ad.jp set network vpn_backup 16 NOTUSE set network vpn_conf keepalive_time 10 set network vpn_conf keepalive_count 6 #save -</pre>
備考	出力される内容は、そのまま設定に用いることができます。出力内容を他の Rooster-VM II のコンソールに入力することにより、同一設定の Rooster-VM II を作成できます。

6.2.3 ARP表示

機能	ARP のテーブルを表示します。
コマンド	system arp
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system arp [CR] ←コマンドを入力。 処理中です... ←ARPテーブル一覧が出力される。 Address HWtype HWaddress Flags Mask Iface 192.168.62.50 ether 00:05:7D:04:13:E1 C eth0 192.168.1.59 ether 00:05:7D:04:13:EF C eth0 -</pre>

6.2.4 即時反映フラグの設定

機能	即時反映フラグを設定します。
コマンド	system dynupdate
パラメータ	第1パラメータ：即時反映させるかの設定 (0:即時に反映させない, 1:即時に反映させる)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system dynupdate 0 [CR] ←コマンドを入力。 -</pre>
初期値	1
備考	各種設定で、設定を行った直ちに反映させるかどうかを決めるフラグです。 デフォルトの“即時反映させる”設定の場合、設定を行ってから設定完了に時間がかかる場合があり、ある程度まとめて設定を行う場合、または設定後直ちに設定を反映させたくない場合は“0”に設定します。

6-3 モバイルカード情報表示

6.3.1 モバイルカードの電話番号

機能	モバイルカードの電話番号を表示します。
コマンド	system mobilecard telno
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-system mobilecard telno[CR] ←コマンドを入力。 TELNO:070***** -</pre>
備考	<p>取得できた場合、“TELNO:[電話番号]”と出力します。 取得に失敗した場合、“TELNO:”とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイルカード自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイルカード自身にその機能がない場合、実現できません。</p>

6.3.2 モバイルカードのアンテナレベル表示

機能	モバイルカードの現在のアンテナレベルを表示します。
コマンド	system mobilecard antlvl
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard antlvl[CR] ←コマンドを入力。 ANTLVL:6 -
備考	<p>取得できた場合、"ANTLRVL:[数値]"と出力します。 数値範囲は、以下のような範囲となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PHS（ウィルコム） <ul style="list-style-type: none"> 0：圏外 1：待ち受けゾーン保持レベル以上 2：待ち受けゾーン選択レベル以上 3：待ち受けゾーン選択レベル+4dBμV以上 4：待ち受けゾーン選択レベル+8dBμV以上 5：待ち受けゾーン選択レベル+12dBμV以上 6：待ち受けゾーン選択レベル+16dBμV以上 ●FOMA <ul style="list-style-type: none"> 0：圏外 1：アンテナ1本 2：アンテナ2本 3：アンテナ3本 （その他の事業者の端末では使用できません） <p>取得に失敗した場合、"ANTLRVL:"とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイルカード自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイルカード自身にその機能がない場合、 実現できません。 また、モバイルカードが通信していない待機状態のみ使用できま す。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗 となります。</p>

6.3.3 モバイルカードの現在位置表示

機能	モバイルカードの現在位置を表示します。
コマンド	system mobilecard locate
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard locate[CR] ←コマンドを入力。 LOCATE:N35:19:55 E136:52:27 -
備考	<p>取得できた場合、"LOCATE:[現在位置]"と出力します。 取得に失敗した場合、"LOCATE:"とのみ出力します。</p> <p>本機能は、モバイルカード自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイルカード自身にその機能がない場合、 実現できません。 また、モバイルカードが通信していない待機状態のみ使用できま す。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗 となります。</p>

6.3.4 モバイルカードの電源の入れ直し

機能	モバイルカードの電源の入れ直しを行います。
コマンド	system mobilecard restart
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -system mobilecard restart[CR] ←コマンドを入力。 OK -
備考	<p>電源の入れ直しに成功した場合、"OK"と出力します。 電源の入れ直しに失敗した場合、"ERROR"と出力します。</p> <p>本機能は、モバイルカード自身に実装される機能に依存します。 よって、ご使用になるモバイルカード自身にその機能がない場合、 実現できません。 また、モバイルカードが通信していない待機状態のみ使用できま す。待機状態以外で実行された場合、取得または実行できず失敗 となります。</p>

6-4 機器の設定・情報取得

6.4.1 パスワード

(1) 設定

機能	本機のパスワードを設定します。
コマンド	set password
パラメータ	第1パラメータ:パスワード文字列(半角16文字までの文字列)
動作	実際の通信例 -set password 1234[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1234

(2) 取得

機能	本機のパスワードを取得します。
コマンド	get password
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get password[CR] ←コマンドを入力。 1234 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.2 NTP使用状態

(1) 設定

機能	NTPを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set ntp use
パラメータ	第1パラメータ:使用するかどうかの設定 (0:使用しない 1:使用する)
動作	実際の通信例 -set ntp use 0 [CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	NTP使用状態を取得します。
コマンド	get ntp use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get ntp use[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.3 NTPサーバ1

(1) 設定

機能	NTPサーバ1を設定します。
コマンド	set ntp server1
パラメータ	第1パラメータ:NTPサーバのアドレス (半角64文字までの文字列)
動作	実際の通信例 -set ntp server1 ntp.jst.mfeed.ad.jp[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	NTPサーバ1の設定内容を取得します。
コマンド	get ntp server1
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get ntp server1[CR] ←コマンドを入力。 ntp.jst.mfeed.ad.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.4 NTPサーバ2

(1) 設定

機能	NTPサーバ2を設定します。
コマンド	set ntp server2
パラメータ	第1パラメータ:NTPサーバのアドレス (半角64文字までの文字列)
動作	実際の通信例 -set ntp server2 ntp.nict.jp[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	NTPサーバ2の設定内容を取得します。
コマンド	get ntp server2
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get ntp server2[CR] ←コマンドを入力。 ntp.nict.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.5 NTP問合せ間隔

(1) 設定

機能	NTPの問合せ間隔を設定します。
コマンド	set ntp interval
パラメータ	第1パラメータ：問合せ間隔（時間単位）
動作	実際の通信例 <code>-set ntp interval 24[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	24

(2) 取得

機能	NTP問合せ間隔の設定値を取得します。
コマンド	get ntp interval
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get ntp interval[CR]</code> ←コマンドを入力。 24 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.6 メールアカウント種別

(1) 設定

機能	メールアカウントの種別を設定します。
コマンド	set mail type
パラメータ	第1パラメータ：種別（0:POPbeforeSMTP, 1:ユーザ認証SMTP）
動作	実際の通信例 <code>-set mail type 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	メールアカウントの種別の設定値を取得します。
コマンド	get mail type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail type[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.7 SMTPサーバ

(1) 設定

機能	SMTPサーバを設定します。
コマンド	set mail smtp
パラメータ	第1パラメータ：SMTPサーバ名（：ポート番号）
動作	実際の通信例 <code>-set mail smtp mail.abc.ne.jp:587[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	サーバ名の後に“：ポート番号”を追加することにより、SMTPサーバに接続するポート番号を指定できます。

(2) 取得

機能	SMTPサーバの設定値を取得します。
コマンド	get mail smtp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail smtp[CR]</code> ←コマンドを入力。 mail.abc.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.8 POP3サーバ

(1) 設定

機能	POP3サーバを設定します。
コマンド	set mail pop
パラメータ	第1パラメータ：POP3サーバ名
動作	実際の通信例 <code>-set mail pop mail.abc.ne.jp[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	POP3サーバの設定値を取得します。
コマンド	get mail pop
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail pop[CR]</code> ←コマンドを入力。 mail.abc.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.9 メールアカウント名

(1) 設定

機能	メールアカウント設定のアカウント名を設定します。
コマンド	set mail user
パラメータ	第1パラメータ：アカウント名（半角 64 文字までの文字列）
動作	実際の通信例 <code>-set mail user abcdefg[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	メールアカウント設定のアカウントの名設定値を取得します。
コマンド	get mail user
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail user[CR]</code> ←コマンドを入力。 abcdefg ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.10 メールパスワード

(1) 設定

機能	メールアカウントのパスワードを設定します。
コマンド	set mail password
パラメータ	第1パラメータ：パスワード（半角 64 文字までの文字列）
動作	実際の通信例 <code>-set mail password pass001[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	メールアカウントパスワードの設定値を取得します。
コマンド	get mail password
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mail password[CR]</code> ←コマンドを入力。 pass001 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.11 自動電源ON/OFF機能の使用の有無

(1) 設定

機能	Rooster の自動電源 ON/OFF 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set autoreboot hard use (ハードウェア機能使用) set autoreboot soft use (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set autoreboot hard use 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	ハードウェア機能：0 ソフトウェア機能：0

(2) 取得

機能	Rooster の自動電源 ON/OFF 機能を使用するかどうかを表示します。
コマンド	get autoreboot hard use (ハードウェア機能使用) get autoreboot soft use (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get autoreboot hard use[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.12 自動電源ON/OFF機能の時間間隔設定

(1) 設定

機能	Roosterの自動電源ON/OFF機能の時間間隔を設定します。
コマンド	set autoreboot hard interval (ハードウェア機能使用) set autoreboot soft interval (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	第1パラメータ：時間間隔 (ハードウェア機能使用の場合 0:35時間, 1:6日) (ソフトウェア機能使用の場合 1~7 単位：日)
動作	実際の通信例 -set autoreboot hard interval 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	ハードウェア機能：0 ソフトウェア機能：1

(2) 取得

機能	Roosterの自動電源ON/OFF機能の時間間隔を表示します。
コマンド	get autoreboot hard interval (ハードウェア機能使用) get autoreboot soft interval (ソフトウェア機能使用)
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get autoreboot hard use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.13 LAN IPアドレス

(1) 設定

機能	LANのIPアドレスを設定します。
コマンド	set lan ip
パラメータ	第1パラメータ：IPアドレス (xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 -set lan ip 192.168.62.1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	192.168.62.1

(2) 取得

機能	LANのIPアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get lan ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get lan ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.62.1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.14 LANサブネットマスク

(1) 設定

機能	LANのサブネットマスクを設定します。
コマンド	set lan subnet
パラメータ	第1パラメータ：サブネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 -set lan subnet 255.255.255.0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	255.255.255.0

(2) 取得

機能	LANのサブネットマスクの設定値を取得します。
コマンド	get lan subnet
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get lan subnet[CR] ←コマンドを入力。 255.255.255.0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.15 LAN RIP設定

(1) 設定

機能	LANのRIP機能の使用設定を行います。
コマンド	set lan rip
パラメータ	第1パラメータ：RIP機能の使用設定 (0:RIP無効, 1:RIP有効)
動作	実際の通信例 -set lan rip 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	LANのRIP機能の設定値を取得します。
コマンド	get lan rip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get lan rip[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.16 モバイルカード初期化ATコマンド

(1) 設定

機能	モバイルカードの初期化ATコマンドを設定します。
コマンド	set mobile init_at_command
パラメータ	第1パラメータ：ATコマンド
動作	実際の通信例 -set mobile init_at_command ATZ[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	モバイルカード初期化ATコマンドの設定値を取得します。
コマンド	get mobile init_at_command
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile init_at_command [CR]←コマンドを入力。 ATZ ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.17 モバイルカード無効設定

(1) 設定

機能	モバイルカード無効の設定をします。
コマンド	set mobile disable
パラメータ	第1パラメータ：無効設定 (0:モバイルカード有効, 1:モバイルカード無効)
動作	実際の通信例 -set mobile disable 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	モバイルカード無効の設定値を取得します。
コマンド	get mobile disable
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile disable[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.18 ダイヤルアップ使用設定

(1) 設定

機能	ダイヤルアップの使用設定をします。
コマンド	set mobile dialup use
パラメータ	第1パラメータ：ダイヤルアップ使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	ダイヤルアップ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.19 ダイアルアップモード設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップモードを設定します。
コマンド	set mobile dialup mode
パラメータ	第1パラメータ：モード設定 (0:通常, 1:対向通信, 2:ビジネス mopera, 3:unnumbered)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	ダイアルアップモードの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup mode[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.20 ダイアルアップ認証プロトコル設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップ認証プロトコルを設定します。
コマンド	set mobile dialup auth_protocol
パラメータ	第1パラメータ：認証設定 (2:相手に合わせる, 3:MS-CHAPv2)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup auth_protocol 3[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	2

(2) 取得

機能	ダイアルアップ認証プロトコルの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup auth_protocol
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup auth_protocol [CR] ←コマンドを入力。 2 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.21 ダイアルアップ暗号化設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップ暗号化方式を設定します。
コマンド	set mobile dialup enc
パラメータ	第1パラメータ：暗号化方式 (0:暗号化無効, 1:MPPE 128bit)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup enc 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	ダイアルアップ暗号化方式の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup enc
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup enc[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.22 ダイアルアップ本体側IPアドレスモード設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップ本体側IPアドレスのモードを設定します。
コマンド	set mobile dialup wan_ip_mode
パラメータ	第1パラメータ：モード (0:自動取得, 1:IP固定)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup wan_ip_mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0[自動取得]

(2) 取得

機能	ダイアルアップ本体側IPアドレスのモードの設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup wan_ip_mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup wan_ip_mode[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.23 ダイアルアップ本体側IPアドレス設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップ本体側 IP アドレスを設定します。
コマンド	set mobile dialup wan_ip
パラメータ	第 1 パラメータ : 本体側 IP アドレス
動作	実際の通信例 -set mobile dialup wan_ip 192.168.0.1[CR] ←コマンド を入力。 -
初期値	0.0.0.0

(2) 取得

機能	ダイアルアップ本体側 IP アドレスを取得します。
コマンド	get mobile dialup wan_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup wan_ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.24 ダイアルアップ自動接続設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップ自動接続を設定します。
コマンド	set mobile dialup auto
パラメータ	第 1 パラメータ : 自動接続 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup auto 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	ダイアルアップ自動接続設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup auto
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup auto[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.25 ダイアルアップセッションキープ

(1) 設定

機能	ダイアルアップのセッションキープを設定します。
コマンド	set mobile dialup keep
パラメータ	第 1 パラメータ : セッションキープ設定 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup keep 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0
備考	ダイアルアップ自動接続を行う場合にのみ有効となります。

(2) 取得

機能	ダイアルアップのセッションキープ設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup keep
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup keep[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.26 ダイアルアップ無通信監視

(1) 設定

機能	ダイアルアップの無通信監視を設定します。
コマンド	set mobile dialup watch use
パラメータ	第1パラメータ：無通信監視設定（0:行わない, 1:行う）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup watch use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	ダイアルアップの無通信監視の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup watch use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup watch use[CR]←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.27 ダイアルアップ無通信監視時間

(1) 設定

機能	ダイアルアップの無通信監視時間を設定します。
コマンド	set mobile dialup watch time
パラメータ	第1パラメータ：無通信監視時間（単位:秒）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup watch time 60[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	600

(2) 取得

機能	ダイアルアップの無通信監視時間の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup watch time
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup watch time[CR] ←コマンドを入力。 60 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.28 ダイアルアップ NAT設定

(1) 設定

機能	ダイアルアップで NAT を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set mobile dialup nat
パラメータ	第1パラメータ：NAT 使用設定（0:NAT 無効, 1:NAT 有効）
動作	実際の通信例 -set mobile dialup nat 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	ダイアルアップの NAT 設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup nat
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup nat[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.29 ダイアルアップ接続先

(1) 設定

機能	ダイアルアップ接続先を設定します。
コマンド	set mobile dialup point
パラメータ	第1パラメータ：電話番号 第2パラメータ：アカウント名 第3パラメータ：パスワード 第4パラメータ：接続方式（0:ダイアルアップ） 第5パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set mobile dialup point NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 -<設定例> -set mobile dialup point 03-1234-5678 test password 0 memo[CR]
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第2パラメータ以降を省略してください。

6. コマンド詳細

(2) 取得

機能	ダイヤルアップ接続先の設定値を取得します。
コマンド	get mobile dialup point
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile dialup point[CR]</code> ←コマンドを入力。 03-1234-5678 test password 0 memo

6.4.30 RAS着信使用設定

(1) 設定

機能	RAS 着信の使用設定をします。
コマンド	set mobile ras use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:RAS 着信を使用しない, 1:RAS 着信を使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras use 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	RAS 着信使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras use[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.31 RAS着番認証使用設定

(1) 設定

機能	RAS 着信の着番認証使用設定をします。
コマンド	set mobile ras tel
パラメータ	第1パラメータ：着番認証使用設定 (0:着番認証を行わない, 1:着番認証を行う)
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras tel 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	RAS 着信の着番認証使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras tel
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras tel[CR]</code> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.32 RAS着信モード設定

(1) 設定

機能	RAS 着信のモード設定をします。
コマンド	set mobile ras mode
パラメータ	第1パラメータ：RAS 着信モード (0:通常, 1:対向通信, 2:ビジネス mopera, 3:unnumbered)
動作	実際の通信例 -set mobile ras mode 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	RAS 着信のモード設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras mode[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.33 RAS着信認証プロトコル設定

(1) 設定

機能	RAS 着信認証プロトコルを設定します。
コマンド	set mobile ras auth_protocol
パラメータ	第1パラメータ：プロトコル (0:CHAP, 1:PAP, 2:相手に合わせる, 3:MS-CHAPv2)
動作	実際の通信例 -set mobile ras auth_protocol 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	RAS 着信認証プロトコルの設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras auth_protocol
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras auth_protocol[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.34 RAS着信暗号化方式設定

(1) 設定

機能	RAS 着信暗号化方式を設定します。
コマンド	set mobile ras enc
パラメータ	第1パラメータ：暗号化方式 (0:暗号化無効, 1:MPPE 128bit)
動作	実際の通信例 -set mobile dialup enc 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	RAS 着信暗号化方式の設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras enc
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile dialup enc[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.35 RASクライアントIPアドレス設定

(1) 設定

機能	RAS クライアントの IP アドレスを設定します。
コマンド	set mobile ras client_ip
パラメータ	第1パラメータ：クライアントの IP アドレス
動作	実際の通信例 -set mobile ras client_ip 192.168.0.1[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	RAS クライアントの IP アドレスを取得します。
コマンド	get mobile ras client_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras client_ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.36 RAS着信本体側IPアドレスモード設定

(1) 設定

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスのモードを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras wan_ip_mode</code>
パラメータ	第1パラメータ：モード (0:自動取得, 1:IP固定)
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras wan_ip_mode 1[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0[自動取得]

(2) 取得

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスのモードの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras wan_ip_mode</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras wan_ip_mode[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.37 RAS着信本体側IPアドレス設定

(1) 設定

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras wan_ip</code>
パラメータ	第1パラメータ：本体側 IP アドレス
動作	実際の通信例 <code>-set mobile dialup wan_ip 192.168.0.1[CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	RAS 着信本体側 IP アドレスの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras wan_ip</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile dialup wan_ip[CR]</code> ←コマンドを入力。 192.168.0.1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.38 RAS着信ID設定

(1) 設定

機能	RAS 着信の ID を設定します。
コマンド	<code>set mobile ras id</code>
パラメータ	第1パラメータ：ID
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras id sample_id[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	RAS 着信 ID の設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras id</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras id[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample_id ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.39 RAS着信パスワード設定

(1) 設定

機能	RAS 着信のパスワードを設定します。
コマンド	<code>set mobile ras password</code>
パラメータ	第1パラメータ：パスワード
動作	実際の通信例 <code>-set mobile ras password sample[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	RAS 着信パスワードの設定値を取得します。
コマンド	<code>get mobile ras password</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get mobile ras password[CR]</code> ←コマンドを入力。 sample ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.40 RAS着信NAT設定

(1) 設定

機能	RAS 着信で NAT を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set mobile ras nat
パラメータ	第 1 パラメータ : NAT 使用設定 (0:NAT 無効, 1:NAT 有効)
動作	実際の通信例 -set mobile ras nat 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	ダイヤルアップの NAT 設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras nat
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile ras nat[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.41 RAS着番リスト

(1) 設定

機能	RAS 着番リストを設定します。
コマンド	set mobile ras tel_list
パラメータ	第 1 パラメータ : 管理番号 (1~50) 第 2 パラメータ : 電話番号 第 3 パラメータ : メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set mobile ras tel_list 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - <設定例> -set mobile ras tel_list 1 03-1234-5678 memo[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第 2 パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	RAS 着番リストの設定値を取得します。
コマンド	get mobile ras tel_list
パラメータ	第 1 パラメータ : 管理番号 (1~50)
動作	実際の通信例 -get mobile ras tel_list 1[CR] ←コマンドを入力。 03-1234-5678 memo ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.42 WakeOn着信使用設定

(1) 設定

機能	WakeOn 着信の使用設定をします。
コマンド	set mobile wakeon use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0:WakeOn 着信を使用しない, 1:WakeOn 着信を使用する)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WakeOn 着信使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.43 WakeOnメッセージ種別

(1) 設定

機能	WakeOn メッセージの種別設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon type
パラメータ	第1パラメータ：メッセージ種別 (0:WakeOn メッセージ, 1:音声着信)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon type 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WakeOn メッセージの種別を取得します。
コマンド	get mobile wakeon type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon type[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.44 WakeOn認証キー

(1) 設定

機能	WakeOn の認証キーの設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon key
パラメータ	第1パラメータ：認証キー
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon key KEY_WAKEON[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	WakeOn の認証キーを取得します。
コマンド	get mobile wakeon key
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon key[CR] ←コマンドを入力。 KEY_WAKEON ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.45 WakeOn着番認証使用設定

(1) 設定

機能	WakeOn の着番認証使用設定を行います。
コマンド	set mobile wakeon tel
パラメータ	第1パラメータ：着番認証使用設定 (0:着番認証を行わない, 1:着番認証を行う)
動作	実際の通信例 -set mobile wakeon tel 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WakeOn の着番認証使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon tel
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon tel[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.46 WakeOn着番リスト

(1) 設定

機能	WakeOn 着番リストを設定します。
コマンド	set mobile wakeon tel_list
パラメータ	第1パラメータ：管理番号 (1~16) 第2パラメータ：電話番号 第3パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 〈使用しない例〉 -set mobile wakeon tel_list 1 NOTUSE[CR] ↑コマンドを入力。 - 〈設定例〉 -set mobile wakeon tel_list 1 03-1234-5678 memo[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第2パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	WakeOn 着番リストの設定値を取得します。
コマンド	get mobile wakeon tel_list
パラメータ	第1パラメータ：管理番号 (1~16)
動作	実際の通信例 -get mobile wakeon tel_list 1[CR] ←コマンドを入力。 03-1234-5678 memo ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.47 アドレス解決使用設定

(1) 設定

機能	アドレス解決を使用するかどうか設定します。
コマンド	set service address use
パラメータ	第1パラメータ：アドレス解決使用設定 (0:使用しない, 1:使用する)
動作	実際の通信例 -set service address use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	アドレス解決使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service address use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address use[CR]←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.48 アドレス解決更新時間

(1) 設定

機能	アドレス解決の更新時間を設定します。
コマンド	set service address time
パラメータ	第1パラメータ：更新時間 (単位：分) ※0の場合は自動更新
動作	実際の通信例 -set serviceaddress time 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	アドレス解決の更新時間設定値を取得します。
コマンド	get service address time
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address time[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.49 アドレス解決種別

(1) 設定

機能	アドレス解決の種別を設定します。
コマンド	set service address type
パラメータ	第1パラメータ：アドレス解決種別（0:メール, 1:ダイナミックDNS）
動作	実際の通信例 <pre>-set service address type 1[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	アドレス解決種別の設定値を取得します。
コマンド	get service address type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service address type[CR]</pre> ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.50 アドレス解決送信先メールアドレス

(1) 設定

機能	アドレス解決の送信先メールアドレスを設定します。
コマンド	set service address send_to
パラメータ	第1パラメータ：送信先メールアドレス
動作	実際の通信例 <pre>-set service address send_to sample@abcd.ne.jp[CR]</pre> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決送信先メールアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get service address send_to
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service address send_to[CR]</pre> ←コマンドを入力。 sample@abcd.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.51 アドレス解決送信元メールアドレス

(1) 設定

機能	アドレス解決の送信元メールアドレスを設定します。
コマンド	set service address from
パラメータ	第1パラメータ：送信元メールアドレス
動作	実際の通信例 <pre>-set service address from sample@abcd.ne.jp[CR]</pre> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決送信元メールアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get service address from
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service address from[CR]</pre> ←コマンドを入力。 sample@abcd.ne.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.52 アドレス解決メール送信種別

(1) 設定

機能	アドレス解決のメール送信種別を設定します。
コマンド	set service address mail_type
パラメータ	第1パラメータ：メール種別 （0:標準メッセージ, 1:指定メッセージ）
動作	実際の通信例 <pre>-set service address mail_type 0[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	アドレス解決のメール送信種別の設定値を取得します。
コマンド	get service address mail_type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service address mail_type[CR]</pre> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.53 アドレス解決指定メッセージ

(1) 設定

機能	アドレス解決の指定メッセージを設定します。
コマンド	set service address message
パラメータ	第1パラメータ：指定メッセージ内容 (IPアドレスは、'%s'と表記)
動作	実際の通信例 -set service address message http://%s/[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決の指定メッセージを取得します。
コマンド	get service address message
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address message[CR]←コマンドを入力。 http://%s/ ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.54 アドレス解決ダイナミックDNS種類

(1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミックDNSの種類を設定します。
コマンド	set service address ddns_type
パラメータ	第1パラメータ：種類 (0:どこでもカメラ, 1:DynDNS, 2:SunCommDDNS)
動作	実際の通信例 -set service address ddns_type 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミックDNSの種類を取得します。
コマンド	get service address ddns_type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address ddns_type[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.55 アドレス解決ダイナミックDNSサーバ名

(1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミックDNSのサーバ名を設定します。
コマンド	set service address server
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミックDNSサーバ名
動作	実際の通信例 -set service address server ddns.suncomm.co.jp[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミックDNSのサーバ名を取得します。
コマンド	get service address server
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address server[CR] ←コマンドを入力。 ddns.suncomm.co.jp ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.56 アドレス解決ダイナミックDNSホスト名

(1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミックDNSのホスト名を設定します。
コマンド	set service address host
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミックDNSホスト名
動作	実際の通信例 -set service address host abcdef ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミックDNSのホスト名を取得します。
コマンド	get service address host
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service address host[CR] ←コマンドを入力。 abcdef ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.57 アドレス解決ダイナミックDNSアカウント

(1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のアカウントを設定します。
コマンド	<code>set service address account</code>
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミック DNS アカウント
動作	実際の通信例 <code>-set service address account sample</code> ← コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のアカウントを取得します。
コマンド	<code>get service address account</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address account [CR]</code> ← コマンドを入力。 <code>sample</code> ← 現在の設定内容を出力。 -

6.4.58 アドレス解決ダイナミックDNSパスワード

(1) 設定

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のパスワードを設定します。
コマンド	<code>set service address password</code>
パラメータ	第1パラメータ：ダイナミック DNS パスワード
動作	実際の通信例 <code>-set service address password abc01234DE</code> ← コマンドを入力 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	アドレス解決のダイナミック DNS のパスワードを取得します。
コマンド	<code>get service address password</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service address password [CR]</code> ← コマンドを入力。 <code>abc01234DE</code> ← 現在の設定内容を出力。 -

6.4.59 DNSサービス使用設定

(1) 設定

機能	DNS リレーを使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service dns use</code>
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0: 使用しない 1: 使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service dns use 1 [CR]</code> ← コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	DNS リレーの設定値を取得します。
コマンド	<code>get service dns use</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service dns use [CR]</code> ← コマンドを入力。 <code>1</code> ← 現在の設定内容を出力。 -

6.4.60 DHCP機能使用設定

(1) 設定

機能	DHCP 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service dhcp use</code>
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0: 使用しない 1: 使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service dhcp use 1 [CR]</code> ← コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	DHCP 機能使用設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service dhcp use</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service dhcp use [CR]</code> ← コマンドを入力。 <code>1</code> ← 現在の設定内容を出力。 -

6.4.61 DHCP方式

(1) 設定

機能	DHCPの方式を設定します。
コマンド	set service dhcp type
パラメータ	第1パラメータ:方式(0:DHCPサーバ, 1:DHCPリレー)
動作	実際の通信例 <pre>-set service dhcp type 0[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	DHCP方式設定の設定値を取得します。
コマンド	get service dhcp type
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service dhcp type[CR]</pre> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.62 上位DHCPサーバIPアドレス

(1) 設定

機能	上位DHCPサーバIPアドレスを設定します。
コマンド	set service dhcp server_ip
パラメータ	第1パラメータ:上位DHCPサーバIPアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 <pre>-set service dhcp server_ip 192.168.62.10[CR]</pre> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	上位DHCPサーバIPアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get service dhcp server_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service dhcp server_ip[CR]</pre> ←コマンドを入力。 192.168.62.10 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.63 DHCPリース開始IPアドレス

(1) 設定

機能	DHCPのリース開始IPアドレスを設定します。
コマンド	set service dhcp start_ip
パラメータ	第1パラメータ:リース開始IPアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 <pre>-set service dhcp start_ip 192.168.62.50[CR]</pre> ↑コマンドを入力。 -
初期値	192.168.62.50

(2) 取得

機能	DHCPのリース開始IPアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get service dhcp start_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service dhcp start_ip[CR]</pre> ←コマンドを入力。 192.168.62.50 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.64 DHCPリースアドレス個数

(1) 設定

機能	DHCPのリースアドレスの個数を設定します。
コマンド	set service dhcp ip_count
パラメータ	第1パラメータ:個数
動作	実際の通信例 <pre>-set service dhcp ip_count 50[CR]</pre> ←コマンドを入力。 -
初期値	50

(2) 取得

機能	DHCPのリースアドレス個数の設定値を取得します。
コマンド	get service dhcp ip_count
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get service dhcp ip_count[CR]</pre> ←コマンドを入力。 50 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.65 TELNETサービス使用設定

(1) 設定

機能	TELNET サービスを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service telnet use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0：使用しない 1：使用する)
動作	実際の通信例 -set service telnet use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	TELNET サービス使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service telnet use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.66 TELNET LANポートアクセス許可設定

(1) 設定

機能	TELNET の LAN ポートアクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service telnet lan
パラメータ	第1パラメータ：設定内容 (0：許可しない 1：許可する)
動作	実際の通信例 -set service telnet lan 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	TELNET の LAN ポートアクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service telnet lan
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet lan[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.67 TELNET外部アクセス許可設定

(1) 設定

機能	TELNET の外部アクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service telnet remote
パラメータ	第1パラメータ：設定内容 (0：許可しない 1：許可する)
動作	実際の通信例 -set service telnet remote 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	TELNET 外部アクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service telnet remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet remote[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.68 TELNETポート

(1) 設定

機能	TELNET サービスで使用するポート番号を設定します。
コマンド	set service telnet port
パラメータ	第1パラメータ：ポート番号
動作	実際の通信例 -set service telnet port 23[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	23

(2) 取得

機能	TELNET サービスで使用しているポート番号を取得します。
コマンド	get service telnet port
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service telnet port[CR]←コマンドを入力。 23 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.69 WEBサービス使用設定

(1) 設定

機能	WEB サービスを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service web use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service web use 1[CR]←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	WEB サービス使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.70 WEB LANポートアクセス許可設定

(3) 設定

機能	WEB サービスの LAN ポートアクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service web lan
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service web lan 1[CR]←コマンドを入力。 -
初期値	1

(4) 取得

機能	WEB サービスの LAN ポートアクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web lan
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web lan[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.71 WEB外部アクセス許可設定

(1) 設定

機能	WEB サービスの外部アクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service web remote
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service web remote 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WEB 外部アクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service web remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web remote[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.72 WEBサービスポート

(1) 設定

機能	WEB サービスで使用するポート番号を設定します。
コマンド	set service web port
パラメータ	第1パラメータ：ポート番号
動作	実際の通信例 -set service web port 80[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	80

(2) 取得

機能	WEB サービスで使用しているポート番号を取得します。
コマンド	get service web port
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service web port[CR] ←コマンドを入力。 80 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.73 QoS機能使用設定

(1) 設定

機能	QoS 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	<code>set service qos use</code>
パラメータ	第1パラメータ：使用設定 (0：使用しない 1：使用する)
動作	実際の通信例 <code>-set service qos use 0[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	QoS 機能使用設定の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service qos use</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service qos use[CR]</code> ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.74 QoS帯域幅設定

(1) 設定

機能	QoS 全体の帯域幅を設定します。
コマンド	<code>set service qos band</code>
パラメータ	第1パラメータ：接続を行うサービスの帯域の理論値
動作	実際の通信例 <code>-set service qos band 64[CR]</code> ←コマンドを入力。 -
初期値	64

(2) 取得

機能	QoS 全体の帯域幅の設定値を取得します。
コマンド	<code>get service qos band</code>
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <code>-get service qos band [CR]</code> ←コマンドを入力。 64 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.75 QoS設定リスト

(1) 設定

機能	QoS 設定リストを設定します。
コマンド	<code>set service qos set_list</code>
パラメータ	第1パラメータ：設定番号 (1~8) 第2パラメータ：宛先インターフェース (0:LAN, 1:モバイルカード) 第3パラメータ：帯域幅 (単位:kbps) 第4パラメータ：送信元 IP アドレス (*:無指定) 第5パラメータ：送信元ポート番号 (*:無指定) 第6パラメータ：宛先 IP アドレス (*:無指定) 第7パラメータ：宛先ポート番号 (*:無指定) 第8パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> <code>-set service qos set_list 1 notuse</code> ↑コマンドを入力。 <使用する場合> <code>-set service qos set_list 1 1 128 192.168.62.50 80 123.123.123.123 80 sample [CR]</code> ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第3パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	QoS 設定リストの設定値を取得します。
コマンド	<code>get service qos set_list</code>
パラメータ	第1パラメータ：設定番号 (1~8)
動作	実際の通信例 <code>-get service qos set_list 1[CR]</code> ↑コマンドを入力。 1 128 192.168.62.50 80 123.123.123.123 80 sample ↑現在の設定内容を出力。 -

6.4.76 SNMP機能使用設定

(1) 設定

機能	SNMP 機能を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service snmp use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service snmp use 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP 使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp use[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.77 SNMPマネージャIPアドレス

(1) 設定

機能	SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。
コマンド	set service snmp manager_ip
パラメータ	第1パラメータ：SNMP マネージャ IP アドレス(xxx.xxx.xxx.xxx)
動作	実際の通信例 -set service snmp manager_ip 192.168.2.1[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP マネージャの IP アドレスの設定値を取得します。
コマンド	get service snmp manager_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp manager_ip[CR]←コマンドを入力。 192.168.2.1 ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.78 SNMPコミュニティ名

(1) 設定

機能	SNMP コミュニティ名を設定します。
コマンド	set service snmp community
パラメータ	第1パラメータ：SNMP コミュニティ名 (半角 64 文字までの文字列)
動作	実際の通信例 -set service snmp community abcdefg[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP コミュニティ名の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp community
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp community[CR] ←コマンドを入力。 abcdefg ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.79 SNMP SYS location名

(1) 設定

機能	SNMP SYS Location 名を設定します。
コマンド	set service snmp syslocation
パラメータ	第1パラメータ：SNMP SYS Location 名 (半角 64 文字までの文字列)
動作	実際の通信例 -set service snmp syslocation xxxxxxxx[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP SYS Location 名の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp syslocation
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp syslocation[CR]←コマンドを入力。 xxxxxxx ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.80 SNMP TRAP使用設定

(1) 設定

機能	SNMP TRAP を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service snmp trap_use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0:TRAP を使用しない、1:TRAP を使用する）
動作	実際の通信例 -set service snmp trap_use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP TRAP 使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp trap_use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp trap_use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.81 SNMP LANポートアクセス許可設定

(1) 設定

機能	SNMP LAN ポートアクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service snmp lan
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service snmp lan 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	SNMP LAN ポートアクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp lan
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp lan[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.82 SNMP外部アクセス許可設定

(1) 設定

機能	SNMP 外部アクセスを許可するかどうかを設定します。
コマンド	set service snmp remote
パラメータ	第1パラメータ：設定内容（0：許可しない 1：許可する）
動作	実際の通信例 -set service snmp remote 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

(2) 取得

機能	SNMP 外部アクセス許可設定の設定値を取得します。
コマンド	get service snmp remote
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service snmp remote[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -
備考	SNMP 機能は IPsec 側から使用出来ません。

6.4.83 WANハートビート使用設定

(1) 設定

機能	WAN ハートビートを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service hb use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service hb use 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WAN ハートビート使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service hb use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb use[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.84 WANハートビート監視時間

(1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視時間を設定します。
コマンド	set service hb time
パラメータ	第1パラメータ：監視時間（単位:分）
動作	実際の通信例 -set service hb time 10[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	WAN ハートビート監視時間の設定値を取得します。
コマンド	get service hb time
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb time[CR] ←コマンドを入力。 10 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.85 WANハートビート無応答時動作

(1) 設定

機能	WAN ハートビートの無応答時の動作を設定します。
コマンド	set service hb mode
パラメータ	第1パラメータ：無応答時動作（0:リセット, 1:ログに記録）
動作	実際の通信例 -set service hb mode 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	1

(2) 取得

機能	WAN ハートビート無応答時動作の設定値を取得します。
コマンド	get service hb mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb mode[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.86 WANハートビート監視先

(1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視先を設定します。
コマンド	set service hb connect
パラメータ	第1パラメータ：監視先（0:WANのゲートウェイ, 1:手動設定）
動作	実際の通信例 -set service hb connect 0[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	WAN ハートビート監視先の設定値を取得します。
コマンド	get service hb connect
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb connect[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.87 WANハートビート監視先IPアドレス

(1) 設定

機能	WAN ハートビートの監視先 IP アドレスを設定します。
コマンド	set service hb ip
パラメータ	第1パラメータ：監視先 IP アドレス
動作	実際の通信例 -set service hb ip 123.123.12.3[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し
備考	WAN ハートビートの監視先を“1：手動設定”にした場合に有効になります。

(2) 取得

機能	WAN ハートビート監視先 IP アドレスを取得します。
コマンド	get service hb ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service hb ip[CR] ←コマンドを入力。 123.123.12.3 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.88 パケット通信ログ使用設定

(1) 設定

機能	パケット通信ログを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service log use_packet
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service log use_packet 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	パケット通信ログ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log use_packet
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log use_packet[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.89 Syslogサーバ

(1) 設定

機能	Syslogサーバに送信するかどうかを設定します。
コマンド	set service log server
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：送信しない，1：送信する）
動作	実際の通信例 -set service log server 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	Syslogサーバ設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log server
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log server[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.90 SyslogサーバIPアドレス

(1) 設定

機能	SyslogサーバのIPアドレスを設定します。
コマンド	set service log server_ip
パラメータ	第1パラメータ：SyslogサーバIPアドレス
動作	実際の通信例 -set service log server_ip 123.123.12.3[CR] ↑コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	SyslogサーバIPアドレスを取得します。
コマンド	get service log server_ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log server_ip[CR] ←コマンドを入力。 123.123.12.3 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.91 PPPログ使用設定

(1) 設定

機能	PPPログを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set service log ppp
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0：使用しない 1：使用する）
動作	実際の通信例 -set service log ppp 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	PPPログ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get service log ppp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get service log ppp [CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.92 IPSecパズスルー

(1) 設定

機能	IPSec パズスルーを設定します。
コマンド	set network through ipsec
パラメータ	第 1 パラメータ：使用設定 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set network through ipsec 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	IPSec パズスルーの設定値を取得します。
コマンド	get network through ipsec
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network through ipsec[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.93 PPTPパズスルー

(1) 設定

機能	PPTP パズスルーを設定します。
コマンド	set network through pptp
パラメータ	第 1 パラメータ：使用設定 (0:行わない, 1:行う)
動作	実際の通信例 -set network through pptp 1[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	PPTP パズスルーの設定値を取得します。
コマンド	get network through pptp
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network through pptp[CR] ←コマンドを入力。 1 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.94 スタティックルーティング

(1) 設定

機能	スタティックルーティングを設定します。
コマンド	set network routing
パラメータ	第 1 パラメータ：設定番号 (1~32) 第 2 パラメータ：ネットワークアドレス (xxx.xxx.xxx.xxx) 第 3 パラメータ：サブネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx) 第 4 パラメータ：ゲートウェイ (xxx.xxx.xxx.xxx) 第 5 パラメータ：インターフェース (4:LAN) (固定) 第 6 パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 <使用しない例> -set network routing 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - <設定例> -set network routing 1 192.168.2.0 255.255.255.0 192.168.62.100 4 memo[CR] ←現在の設定内容を出力。 -
初期値	無し
備考	NOTUSE の場合、第 3 パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	スタティックルーティングの設定値を取得します。
コマンド	get network routing
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～32）
動作	実際の通信例 <pre>-get network routing 1[CR] ←コマンドを入力。 192.168.2.0 255.255.255.0 192.168.62.100 2 memo ←現在の設定内容を出力。 -</pre>

6.4.95 フィルタリングポリシー

(1) 設定

機能	フィルタリングポリシーのモードを設定します。
コマンド	set network filtering mode
パラメータ	第1パラメータ：設定モード（0:未設定を通す, 1:未設定を遮断する）
動作	実際の通信例 <pre>-set network filtering mode 0[CR] ←コマンドを入力。 -</pre>
初期値	1（未設定を遮断する）

(2) 取得

機能	フィルタリングポリシーのモードを取得します。
コマンド	get network filtering mode
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get network filtering mode ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -</pre>

6.4.96 フィルタリングリスト

(1) 設定

機能	フィルタリングのリストを設定します。
コマンド	set network filtering list
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～32） 第2パラメータ：インターフェース （2:モバイルカード, 3:VPN, 4:全て, NOTUSE:指定番号を使用しない） 第3パラメータ：方向（0:受信, 1:送信） 第4パラメータ：動作（0:許可, 1:遮断） 第5パラメータ：プロトコル （0:全て, 1:UDP, 2:TCP, 3:ICMP, 4:ユーザ指定） 第6パラメータ：ユーザ指定プロトコル番号（0～255, *:無指定） 第7パラメータ：宛先IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx, *:無指定） 第8パラメータ：宛先ポート番号・開始（0～65535, *:無指定） 第9パラメータ：宛先ポート番号・終了（0～65535, *:無指定） 第10パラメータ：メモ（16byte迄の文字列, *:無指定）
動作	実際の通信例 <使用しない例> <pre>-set network filtering list 10 NOTUSE[CR] ↑コマンドを入力。 -</pre> <設定例> <pre>-set network filtering list 10 4 1 0 3 * 192.168.2.1 0 65535 sample[CR] -</pre>
<初期値> 取扱説明書のフィルタリングのページを参照ください。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● NOTUSEの場合、第3パラメータ以降を省略してください。 ● 第6パラメータ以降で指定しない項目は*を入力してください。 ● 「ユーザ指定プロトコル番号」は「プロトコル」で「4:ユーザ指定」を設定した場合に設定してください。通常は無指定にしてください。

(2) 取得

機能	フィルタリングのリストの設定を取得します。
コマンド	get network filtering list
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～32）
動作	実際の通信例 <pre>-get network filtering list 1[CR] ←コマンドを入力。 4 1 0 2 * * 80 80 HTTP ←現在の設定内容を出力。 -</pre>

6.4.97 バーチャルサーバ

(1) 設定

機能	バーチャルサーバを設定します。
コマンド	set network vs
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16） 第2パラメータ：インターフェース（2:モバイルカード） 第3パラメータ：プロトコル（1:UDP, 2:TCP） 第4パラメータ：ポート番号 第5パラメータ：サーバのIPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx） 第6パラメータ：メモ
動作	実際の通信例 〈使用しない例〉 -set network vs 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。 - 〈設定例〉 -set network vs 1 2 2 80 192.168.62.11 HTTP_server[CR] -
初期値	無し
備考	NOTUSEの場合、第3パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	バーチャルサーバの設定値を取得します。
コマンド	get network vs
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16）
動作	実際の通信例 -get network vs 1[CR] ←コマンドを入力。 2 2 80 192.168.62.11 HTTP_server ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.98 DMZ使用設定

(1) 設定

機能	DMZを使用するかどうかを設定します。
コマンド	set network dmz use
パラメータ	第1パラメータ：使用設定（0:使用しない, 1:使用する）
動作	実際の通信例 -set network dmz use 0[CR]←コマンドを入力。 -
初期値	0

(2) 取得

機能	DMZ使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get network dmz use
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network dmz use[CR] ←コマンドを入力。 0 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4.99 DMZプライベートIPアドレス

(1) 設定

機能	DMZを使用する機器のプライベートIPアドレスを設定します。
コマンド	set network dmz ip
パラメータ	第1パラメータ：IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx）
動作	実際の通信例 -set network dmz ip 192.168.62.13[CR] ←コマンドを入力。 -
初期値	無し

(2) 取得

機能	DMZプライベートIPアドレスの設定値を取得します。
コマンド	get network dmz ip
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 -get network dmz ip[CR] ←コマンドを入力。 192.168.62.13 ←現在の設定内容を出力。 -

6.4. 100 VPN

(1) 設定

機能	VPNを設定します。
コマンド	set network vpn
パラメータ	<p>第1パラメータ：設定番号（1～16）</p> <p>第2パラメータ：プロトコル（0:IPsec）</p> <p>第3パラメータ：インターフェース（2:モバイルカード）</p> <p>第4パラメータ：相手IPアドレス（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第5パラメータ：相手ネットワーク（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第6パラメータ：相手ネットマスク（xxx.xxx.xxx.xxx）</p> <p>第7パラメータ：モード （0:メインモード，1:アグレッシブモード）</p> <p>第8パラメータ：PreShareKey（半角64文字までの文字列）</p> <p>第9パラメータ：セッションキープ（0:行なわない，1:行なう）</p> <p>第10パラメータ：識別子:ホストID（半角64文字までの文字列）</p> <p>第11パラメータ：IKE Life Time（秒単位）</p> <p>第12パラメータ：IPSec Life Time（秒単位）</p> <p>第13パラメータ：キープアライブ（0:行なわない，1:行なう）</p> <p>第14パラメータ：キープアライブ監視先IPアドレス1 （*:無指定）</p> <p>第15パラメータ：キープアライブ監視先IPアドレス2 （*:無指定）</p> <p>第16パラメータ：メモ（省略可能）</p>
動作	<p>実際の通信例</p> <p>〈使用しない例〉</p> <pre>-set network vpn 1 NOTUSE[CR] ←コマンドを入力。</pre> <p>-</p> <p>〈設定例〉</p> <pre>-set network vpn 1 0 2 150.20.30.1 150.20.30.0 255.255.255.0 1 PRESHAREKEY 1 abcde 1000 2000 1 150.20.30.11 * memo[CR]</pre> <p>-</p>
初期値	無し
備考	指定番号の設定を削除する場合、第2パラメータにNOTUSEと指定し、第3パラメータ以降を省略してください。

(2) 取得

機能	VPNの設定値を取得します。
コマンド	get network vpn
パラメータ	第1パラメータ：設定番号（1～16）
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn 1[CR] ←コマンドを入力。</pre> <pre>0 2 150.20.30.1 150.20.30.0 255.255.255.0 1 PRESHAREKEY 1 abcde 1000 2000 1 150.20.30.11 * memo</pre> <p>↑現在の設定内容を出力。</p> <p>-</p>

6.4.101 VPNバックアップ

(1) 設定

機能	VPN バックアップを設定します。
コマンド	set network vpn_backup
パラメータ	<p>第 1 パラメータ：設定番号 (1~16)</p> <p>第 2 パラメータ：プロトコル (0:IPsec)</p> <p>第 3 パラメータ：インターフェース (2:モバイルカード) ※動作に無関係</p> <p>第 4 パラメータ：相手 IP アドレス (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 5 パラメータ：相手ネットワーク (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 6 パラメータ：相手ネットマスク (xxx.xxx.xxx.xxx)</p> <p>第 7 パラメータ：モード (0:メインモード, 1:アグレッシブモード)</p> <p>第 8 パラメータ：PreShareKey (半角 64 文字までの文字列)</p> <p>第 9 パラメータ：セッションキーブ (0:行なわない, 1:行なう) ※動作に無関係</p> <p>第 10 パラメータ：識別子:ホスト ID (半角 64 文字までの文字列)</p> <p>第 11 パラメータ：IKE Life Time (秒単位)</p> <p>第 12 パラメータ：IPSec Life Time (秒単位)</p> <p>第 13 パラメータ：キーブアライブ (0:行なわない, 1:行なう)</p> <p>第 14 パラメータ：キーブアライブ監視先 IP アドレス 1 (*:無指定)</p> <p>第 15 パラメータ：キーブアライブ監視先 IP アドレス 2 (*:無指定)</p> <p>第 16 パラメータ：メモ (省略可能)</p>
動作	<p>実際の通信例</p> <p><使用しない例></p> <pre>-set network vpn_backup 1 NOTUSE[CR]</pre> <p><設定例></p> <pre>-set network vpn_backup 1 0 2 150.20.30.1 150.20.30.0 255.255.255.0 1 PRESHAREKEY 1 abcde 1000 2000 1 150.20.30.11 * memo[CR]</pre>
初期値	無し
備考	<p>指定番号の設定を削除する場合、第 2 パラメータに NOTUSE と指定し、第 3 パラメータ以降を省略してください。</p> <p>VPN が設定されている番号にのみ設定出来ます。</p> <p>セッションキーブに関しては、ここでの設定に関係なく VPN (メイン) 側の設定で動作します。</p>

(2) 取得

機能	VPN バックアップの設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_backup
パラメータ	第 1 パラメータ：設定番号 (1~16)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn_backup 1[CR]</pre> <p>←コマンドを入力。</p> <pre>0 2 150.20.30.1 150.20.30.0 255.255.255.0 1 PRESHAREKEY 1 abcde 1000 2000 1 150.20.30.11 * memo</pre> <p>←現在の設定内容を出力。</p> <p>-</p>

6.4.102 VPNキーブアライブ時間

(1) 設定

機能	VPN のキーブアライブ時間を設定します。
コマンド	set network vpn_conf keepalive_time
パラメータ	第 1 パラメータ：キーブアライブ時間 (単位：秒)
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-set network vpn_conf keepalive_time 10[CR]</pre> <p>↑コマンドを入力。</p> <p>-</p>
初期値	10
備考	10 以上を設定してください

(2) 取得

機能	VPN のキーブアライブ時間の設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_conf keepalive_time
パラメータ	無し
動作	<p>実際の通信例</p> <pre>-get network vpn_conf keepalive_time[CR]</pre> <p>←コマンドを入力。</p> <pre>10</pre> <p>←現在の設定内容を出力。</p> <p>-</p>

6.4.103 VPNキープアライブ回数

(1) 設定

機能	VPNのキープアライブ回数を設定します。
コマンド	set network vpn_conf keepalive_count
パラメータ	第1パラメータ : キープアライブ回数
動作	実際の通信例 <pre>-set network vpn_conf keepalive_count 6[CR]</pre> <p style="text-align: right;">↑コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>
初期値	6

(2) 取得

機能	VPNのキープアライブ回数の設定値を取得します。
コマンド	get network vpn_conf keepalive_count
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get network vpn_conf keepalive_count 6[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">6</p> <p style="text-align: right;">←現在の設定内容を出力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>

6.4.104 日時設定

(1) 設定

機能	日時を設定します。
コマンド	set date
パラメータ	第1パラメータ : 時刻データ (YYYYMMDDhhmmss)
動作	実際の通信例 <pre>-set date 20040101120000[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>
初期値	無し

(2) 取得

機能	日時を取得します。
コマンド	get date
パラメータ	無し
動作	実際の通信例 <pre>-get date[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">JST 2004/01/01 12:00:00</p> <p style="text-align: right;">←現在の設定日時を出力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>

6-5 ログ情報表示

6.5.1 ログ表示

機能	ログを表示します。
コマンド	log show
パラメータ	第1パラメータ : ログ表示対象 (session, block, mobile, vpn, ddns, dhcp, wanherf, system, ppp)
動作	実際の通信例 <pre>-log show system[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p>1 : 2004/08/04 09:48:10 - 'ログシステムの開始'</p> <p>2 : 2004/08/04 09:48:15 - 'NTP サービスを開始します'</p> <p>3 : 2004/08/04 09:48:15 - 'NTP サーバ名 : ntp.jst.mfeed.ad.jp/ ntp.nict.jp'</p> <p>4 : 2004/08/04 09:48:16 - 'NTP 間隔 : 86400 秒'</p> <p>5 : 2004/08/04 09:48:18 - 'NTP サービスで時刻取得に成功しました'</p> <p>6 : 2004/08/04 09:49:33 - 'telnet にアクセスがありました [192.168.62.50]'</p> <p>7 : 2004/08/04 09:49:37 - 'telnet にログインしました [192.168.62.50]'</p> <p>8 : 2004/08/04 10:20:49 - 'telnet にアクセスがありました [192.168.62.50]'</p> <p>9 : 2004/08/04 10:20:54 - 'telnet にログインしました [192.168.62.50]'</p> <p style="text-align: center;">-</p>

6.5.2 ログクリア

機能	ログを消去します。
コマンド	log clear
パラメータ	第1パラメータ : ログクリア対象 (session, block, mobile, vpn, ddns, dhcp, wanherf, system, ppp)
動作	実際の通信例 <pre>-log clear vpn[CR]</pre> <p style="text-align: right;">←コマンドを入力。</p> <p style="text-align: center;">-</p>

6-6 ステータス情報表示

6.6.1 ステータス表示

機能	ステータスを表示します。
コマンド	status
パラメータ	第1パラメータ：表示対象（以下のものとなります） lan - LANポートの状態 mobile - モバイルカードの状態 ipsec - IPSecの状態 ntp - NTPの状態 wheart - WANハートビートの状態 kai - 名前解決サービスの状態 telnet - telnetサービスの状態 web - WEBサービスの状態 snmp - SNMPサービスの状態 dns - DNSサービスの状態 dhcp - DHCPサービスの状態 route - ルーティングの状態 rip - RIPサービスの状態 qos - QoSの状態 log - ログサービスの状態
動作	実際の通信例 - <i>status lan</i> [CR] ←コマンドを入力。 1: no link ←ステータス表示 2: no link 3: no autonegotiation, 100baseTx-FD, link ok 4: no link 5: no autonegotiation, 100baseTx-FD flow-control, link ok -

6-7 接続・切断機能

6.7.1 回線の接続

機能	指定された回線を接続します。
コマンド	connect
パラメータ	第1パラメータ：回線（mobile, vpn） 第2パラメータ：設定番号（1~16） ※vpnの場合のみ
動作	実際の通信例 〈モバイルカードの接続〉 - <i>connect mobile</i> [CR] ←コマンドを入力。 - 〈VPNの接続〉 - <i>connect vpn 1</i> [CR] ←コマンドを入力。 -

6.7.2 回線の切断

機能	指定された回線を切断します。
コマンド	discon
パラメータ	第1パラメータ：回線（mobile, vpn） 第2パラメータ：設定番号（1~16） ※vpnの場合のみ
動作	実際の通信例 〈モバイルカードの切断〉 - <i>discon mobile</i> [CR] ←コマンドを入力。 - 〈VPNの切断〉 - <i>discon vpn 1</i> [CR] ←コマンドを入力。 -

6-8 その他機能

6.8.1 本機のリセット

機能	コマンドを入力後、実行確認を行い、本機はリセットしコールドスタートします。
コマンド	reset
パラメータ	なし
動作	実際の通信例 <pre>-reset[CR] ←コマンドを入力。 システムをリセットしてよろしいですか？ [y(yes) or n(no)] : y[CR] ←リセットされる</pre>

6.8.2 設定全消去

機能	設定内容を全消去し、工場出荷時の状態に戻します。
コマンド	allclear
パラメータ	なし
動作	実際の通信例 <pre>-allclear[CR] ←コマンドを入力。 設定を初期化します。よろしいですか？ [y(yes) or n(no)] : y[CR] 設定を保存します...</pre>

6.8.3 設定保存

機能	設定した内容をフラッシュ ROM に書き込みます。
コマンド	save
パラメータ	なし
動作	実際の通信例 <pre>-save[CR] ←コマンドを入力。 設定を保存します...</pre>

6.8.4 ping

機能	ping 処理を行います。
コマンド	ping
パラメータ	第1パラメータ：pingを行う対象のアドレス
動作	実際の通信例 <pre>- ping 192.168.62.50[CR] ←コマンドを入力。 処理中です... PING 192.168.62.50 (192.168.62.50): 56 data bytes 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=1 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=2 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=3 ttl=128 time=0.0 ms 4 bytes from 192.168.62.50: icmp_seq=4 ttl=128 time=0.0 ms -- 192.168.62.50 ping statistics -- packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss round-trip min/avg/max = 0.0/0.0/0.0 ms</pre>

6.8.5 コンソールの終了

機能	コンソールを終了します。
コマンド	exit
パラメータ	なし
動作	実際の通信例 <pre>-exit[CR] ←コマンドを入力。 ←接続切断。</pre>

■ サポートのご案内

- 最新情報の入手

Rooster-VM II に関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ

http://www.sun-denshi.co.jp/sc/rooster_vm2/

- ご質問・お問い合わせ

Rooster-VM II に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

サンコミュニケーションズ事業部 サポートセンター

- 電話 0587-55-0161
- FAX 0587-55-0815
- メール support-suncomm@sun-denshi.co.jp
- 受付時間 月曜～金曜 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)
 祝祭日、弊社休日を除く

Rooster-VMII

SC-RS920VM2

TELNET 設定機能説明書 Ver. 1.2

2009年2月発行

サン電子株式会社 サンコミュニケーションズ事業部

〒483-8555 愛知県江南市古知野町朝日 250

※無断複写・転載を禁止します。

(090224)